

南大井3丁目解体工事現場について

区内解体工事現場における工事の施工方法および現場管理について、区民の方々からご心配やご不安の声が区に寄せられたため、下記のとおり報告する。

記

1. 解体現場所在地および解体建築物の概要

- | | |
|--------|-----------------------|
| (1)所在地 | 品川区南大井3-33-2 |
| (2)構造 | 鉄骨造 |
| (3)高さ | 18.2m 地上6階 |
| (4)床面積 | 336.75 m ² |
| (5)用途 | 元ビジネスホテル |

2. 今までの経緯

R5.9.4 午前 区職員が現場の状況を確認

解体工事により発生するコンクリートなどの廃材が隣地マンションのフェンスを壊す。廃材が道路にはみ出し、歩道が通行できない状況

同日 午後 解体工事業者より聞き取り調査

解体工事業者を呼び、解体工事の施工方法、現場の安全管理について確認を行う。聞き取りを行った結果、今後解体工事を継続すると近隣への被害が拡大する可能性があり、現場の安全管理ができないと考えられるため、区から解体工事の一時停止を指示し、解体工事業者は合意した。

また、区民の方々からご心配やご不安を軽減するため、区ホームページに「工事の一時停止」を掲載した。

R5.9.5～6 解体工事業者は、この2日間で現場から廃材の搬出を行うとの話であったが、実行されなかった。

R5.9.7 発注者は事態の打開をはかるべく、解体工事業者の変更を行った。

R5.9.8 重機を搬出し、廃材は道路および隣地に行かないように敷地奥に移動させた。

なお、発注者は今後の説明とお詫びを行うため、近隣を回った。

R5.9.9 新解体工事業者が今後の説明のため、近隣に挨拶に回った。

R5.9.11～30 残りの廃材を撤去する。

R5.9.15～30 現在の仮囲いの撤去および、より強固なものを設置する。